

# 2017年上半期 決算説明資料

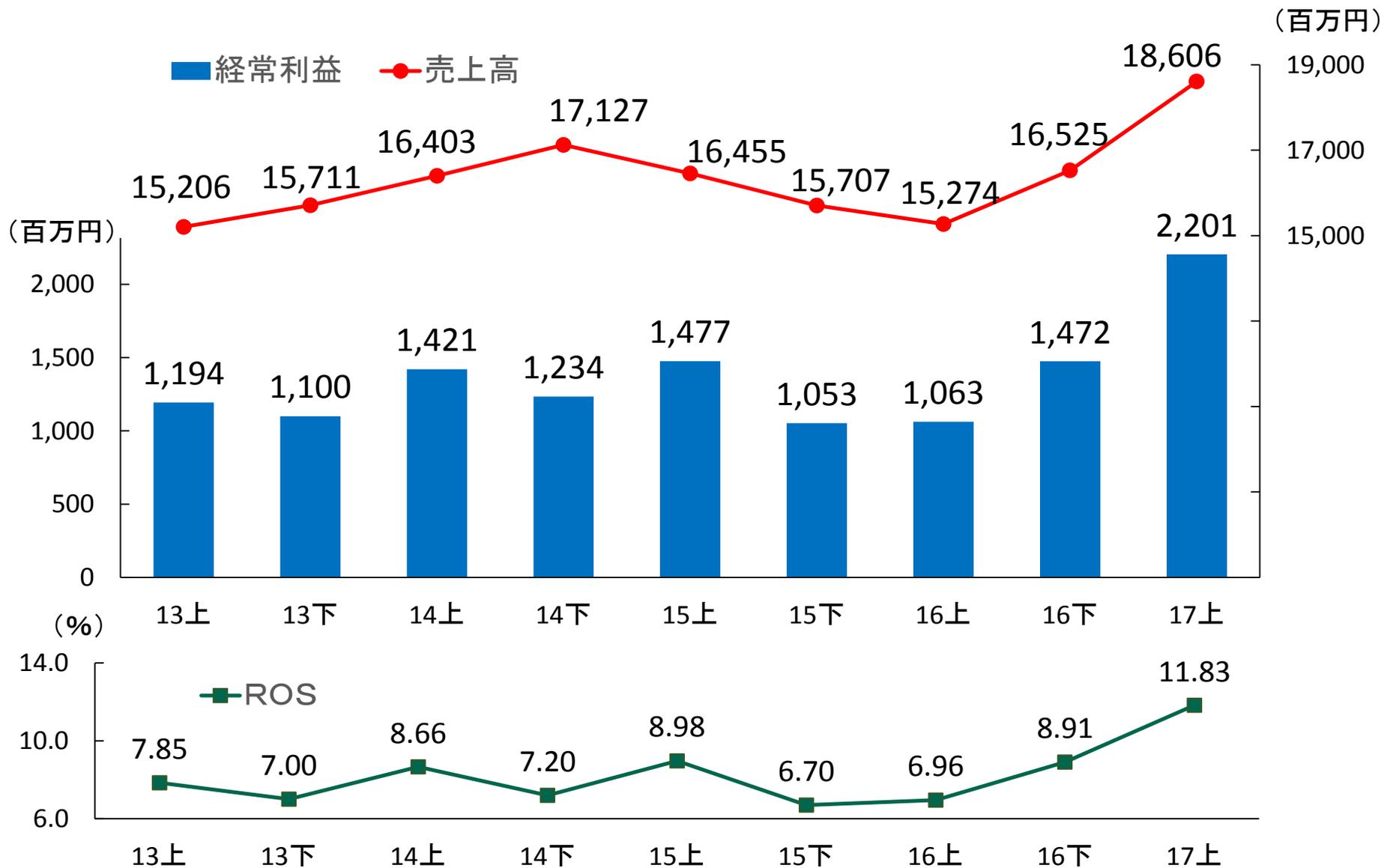
2017年10月30日

Micro&Fine Technology

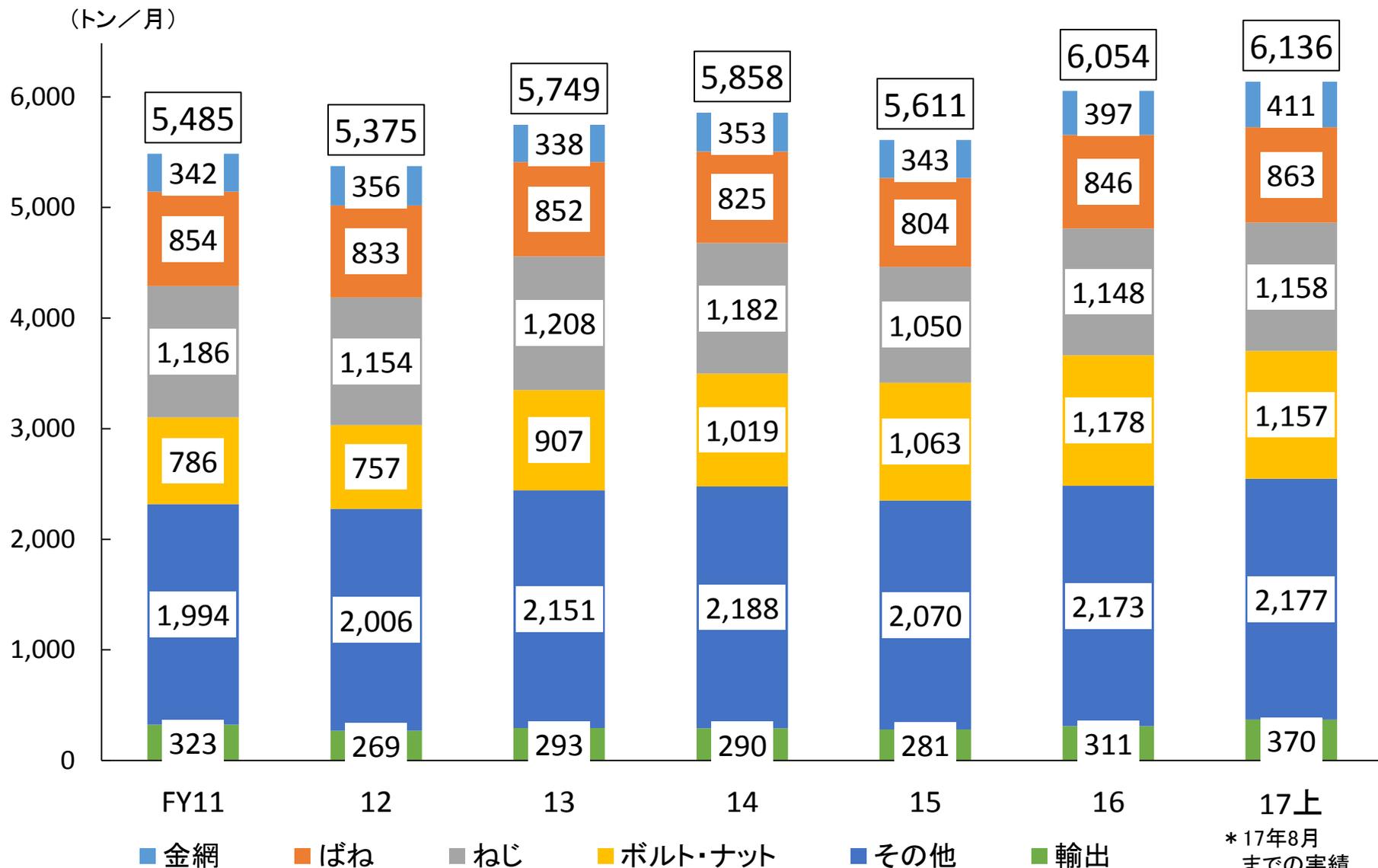


日本精線株式会社

# 連結売上高・経常利益推移(半期)

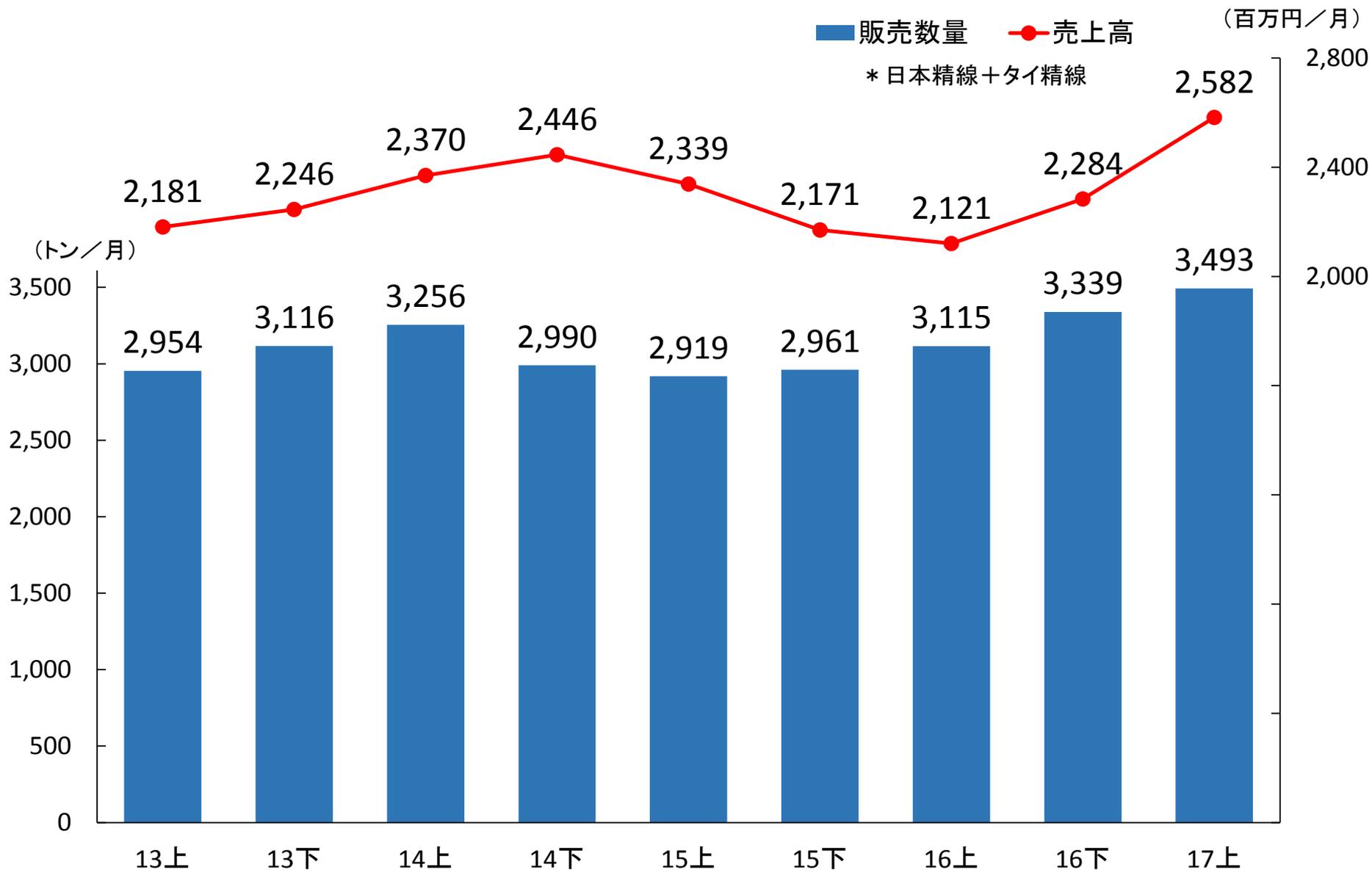


# 業界出荷数量の推移(ステンレス鋼線)

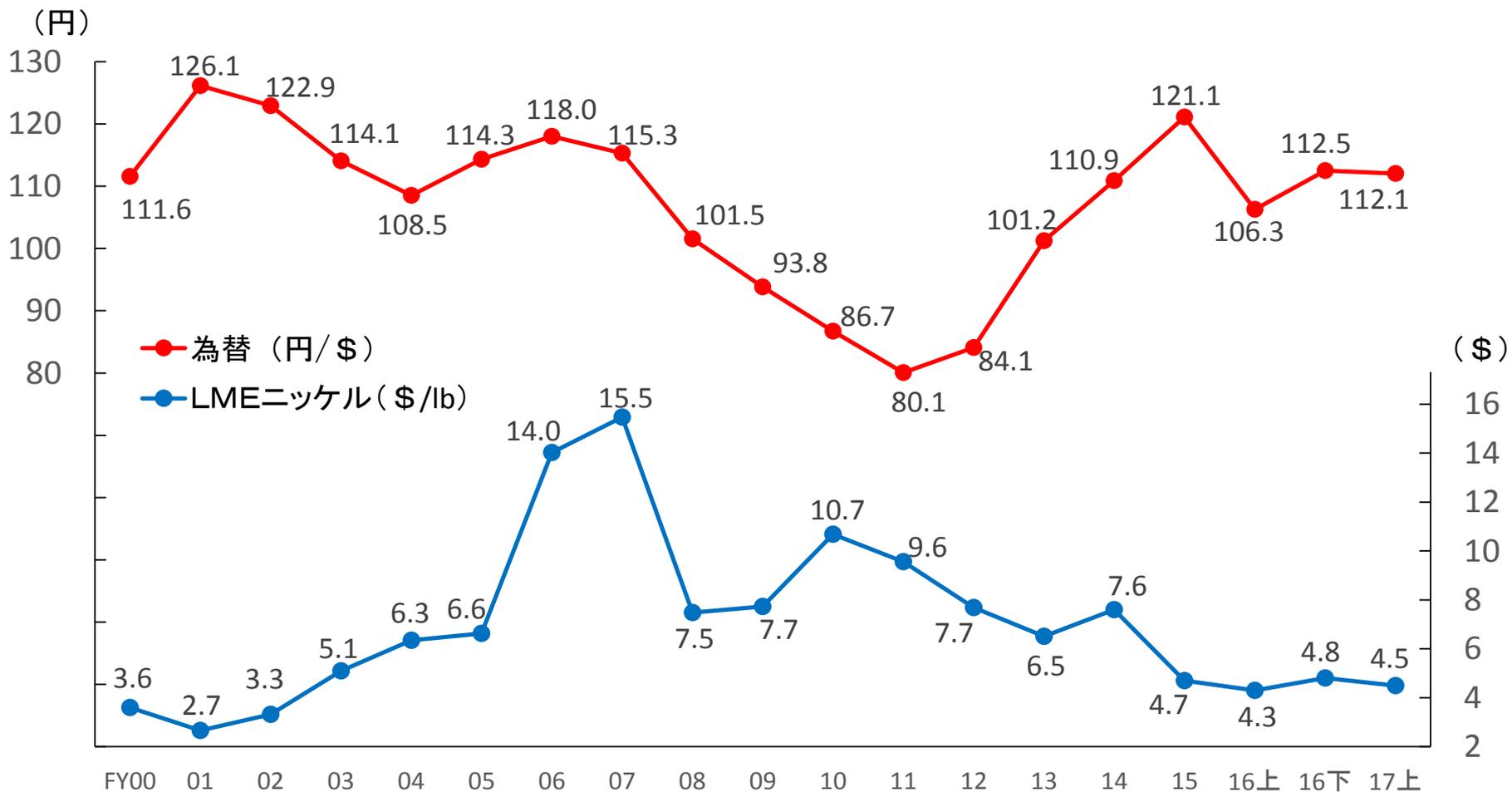


\* 17年8月  
までの実績

# 部門別売上高の状況(ステンレス鋼線)



# LMEニッケル価格・為替推移



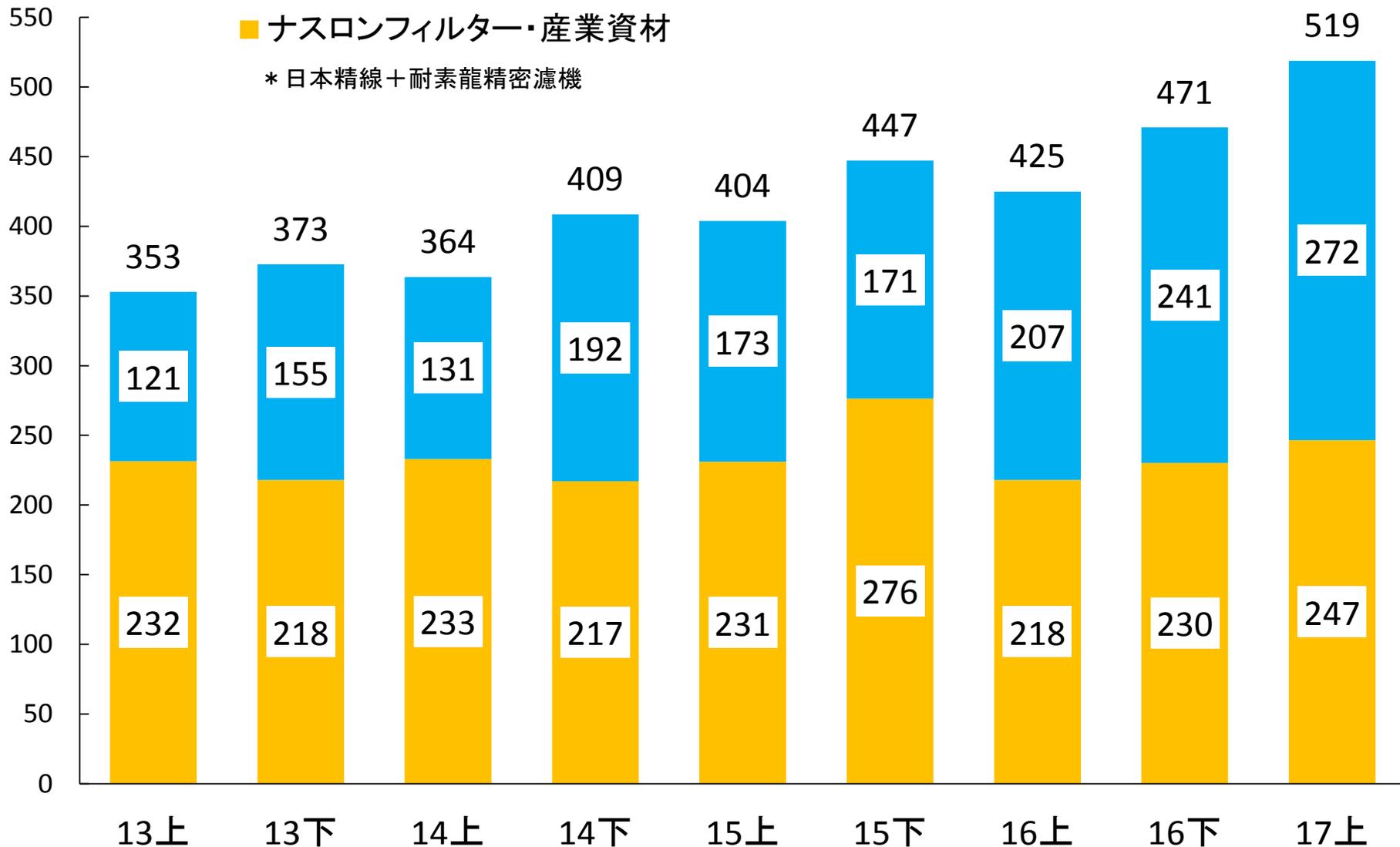
➡ 足元のニッケル価格は緩やかながら上昇基調

# 部門別売上高の状況(金属繊維)

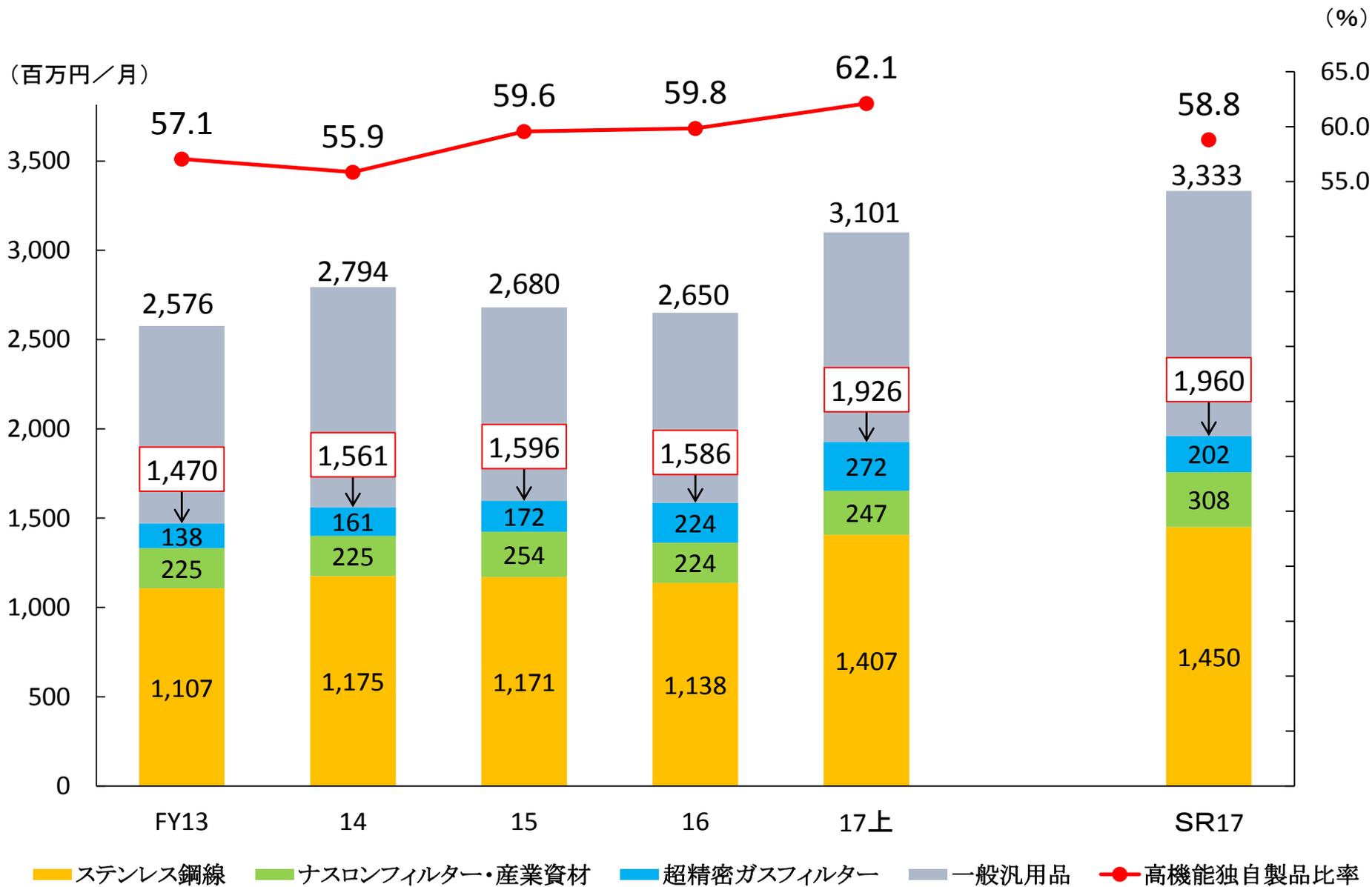
(百万円/月)

- 超精密ガスフィルター
- ナスロンフィルター・産業資材

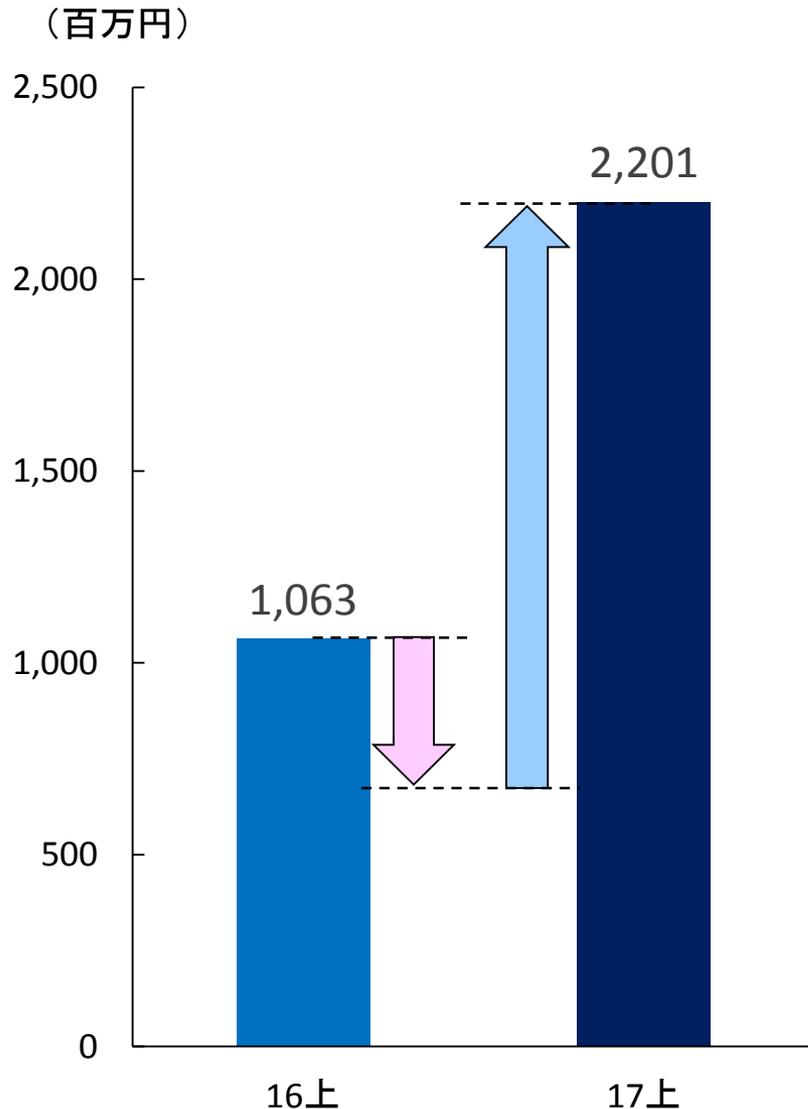
\* 日本精線+耐素龍精密濾機



# 高機能・独自製品の売上高



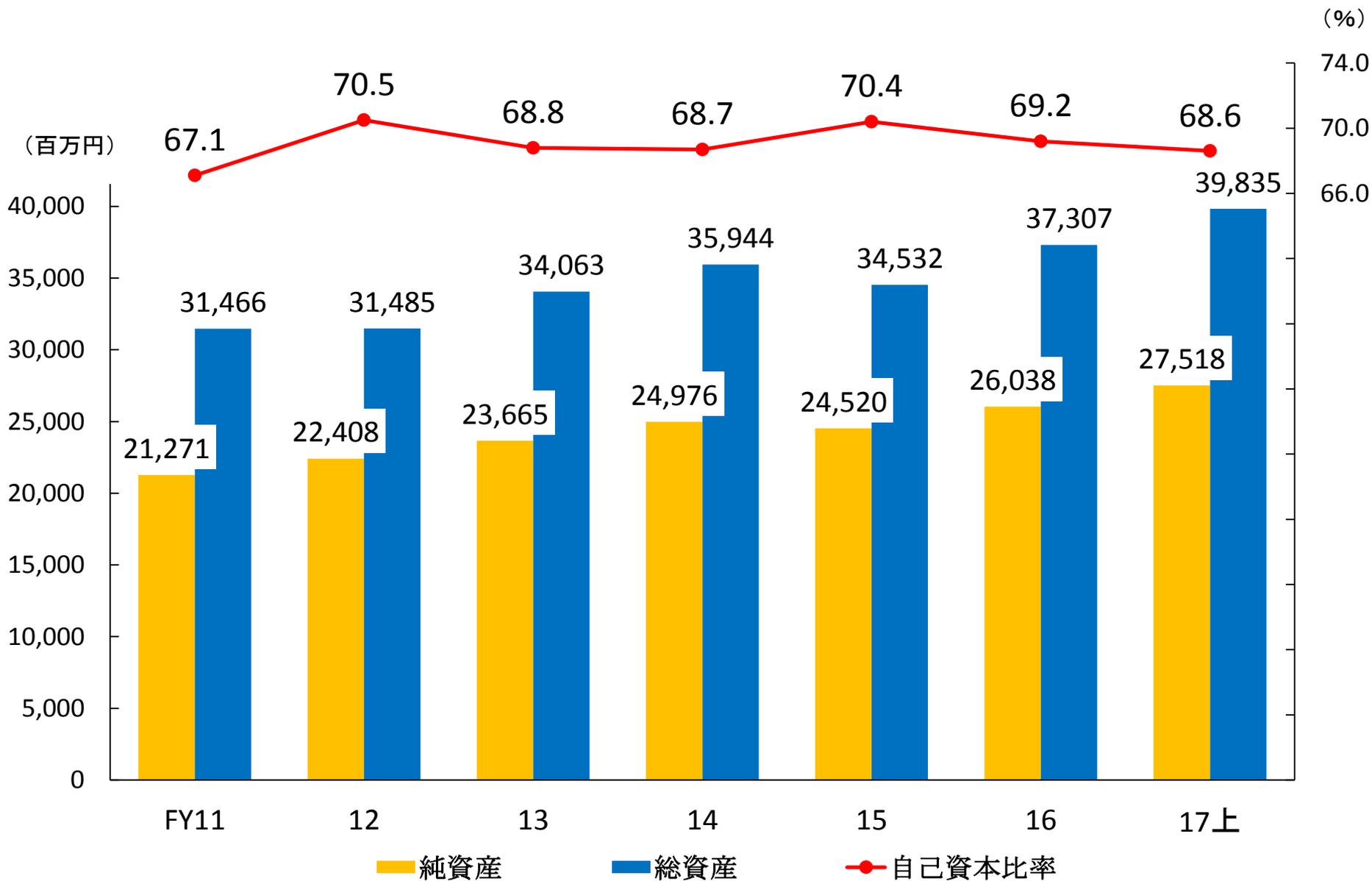
# 上半期経常利益の変化要因(前年同期対比)



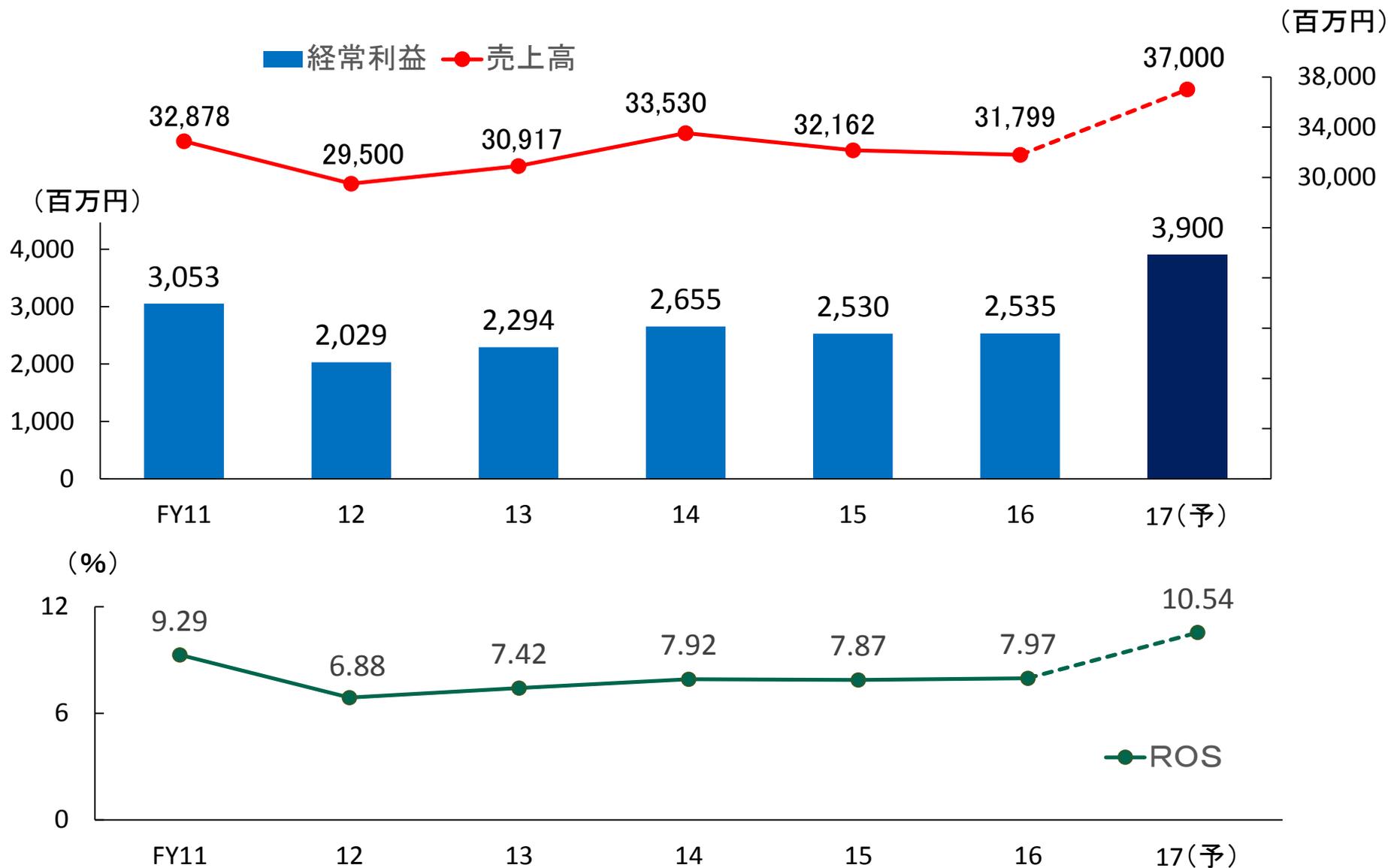
(百万円)

16年上期経常利益		1,063		
前年度対比変化	営業損益	Ni市況	-	+400
		数量変化	-	+447
		内容差他	-	+550
		固定費	▲ 350	+100
		合計	▲ 350	+1,497
	営業外損益	▲ 9	-	
17年上期経常利益		2,201 (+1,138)		

# 総資産・純資産・自己資本比率



# 17年度 連結業績見通し

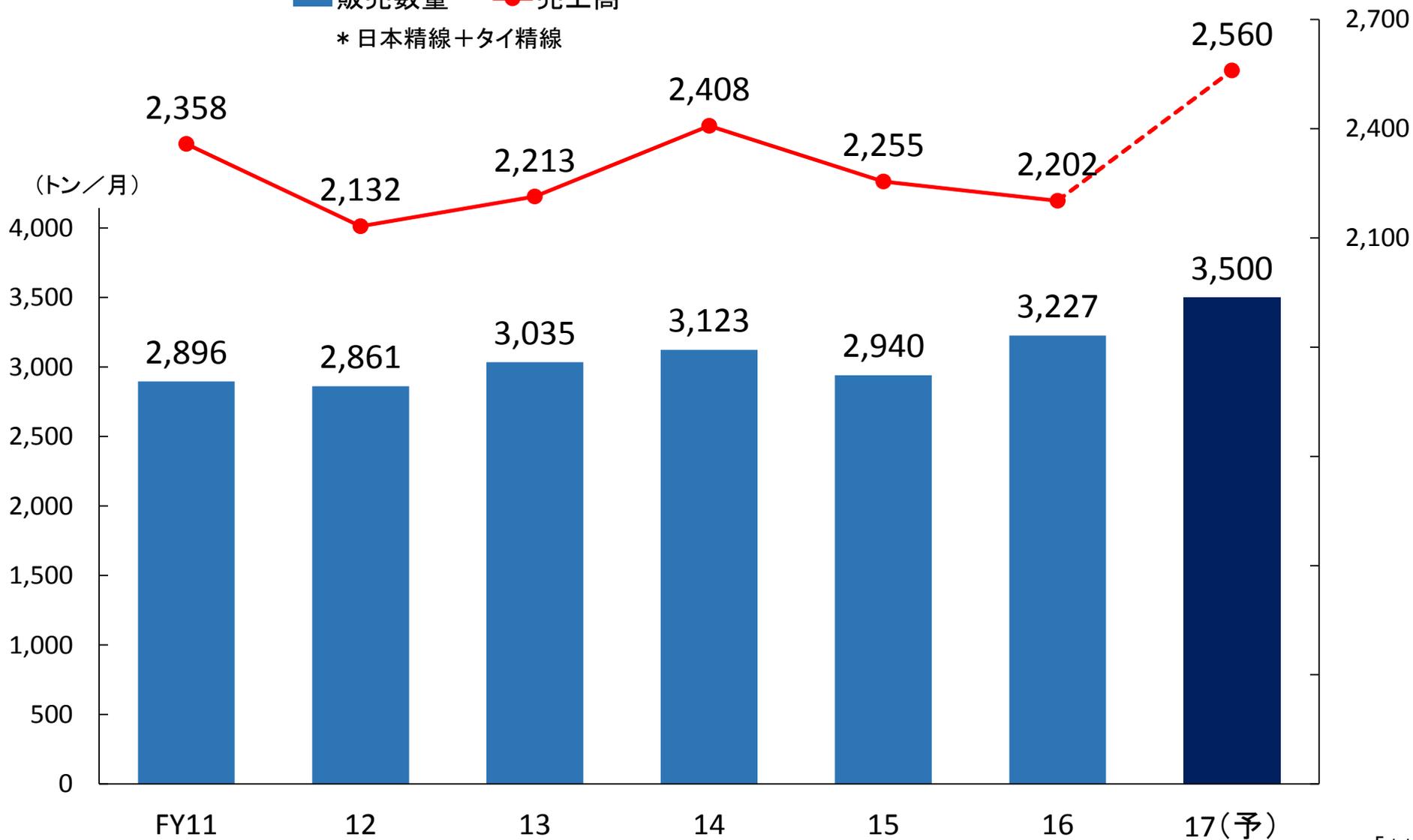


# 部門別売上高の見通し(ステンレス鋼線)

(百万円/月)

■ 販売数量 ● 売上高

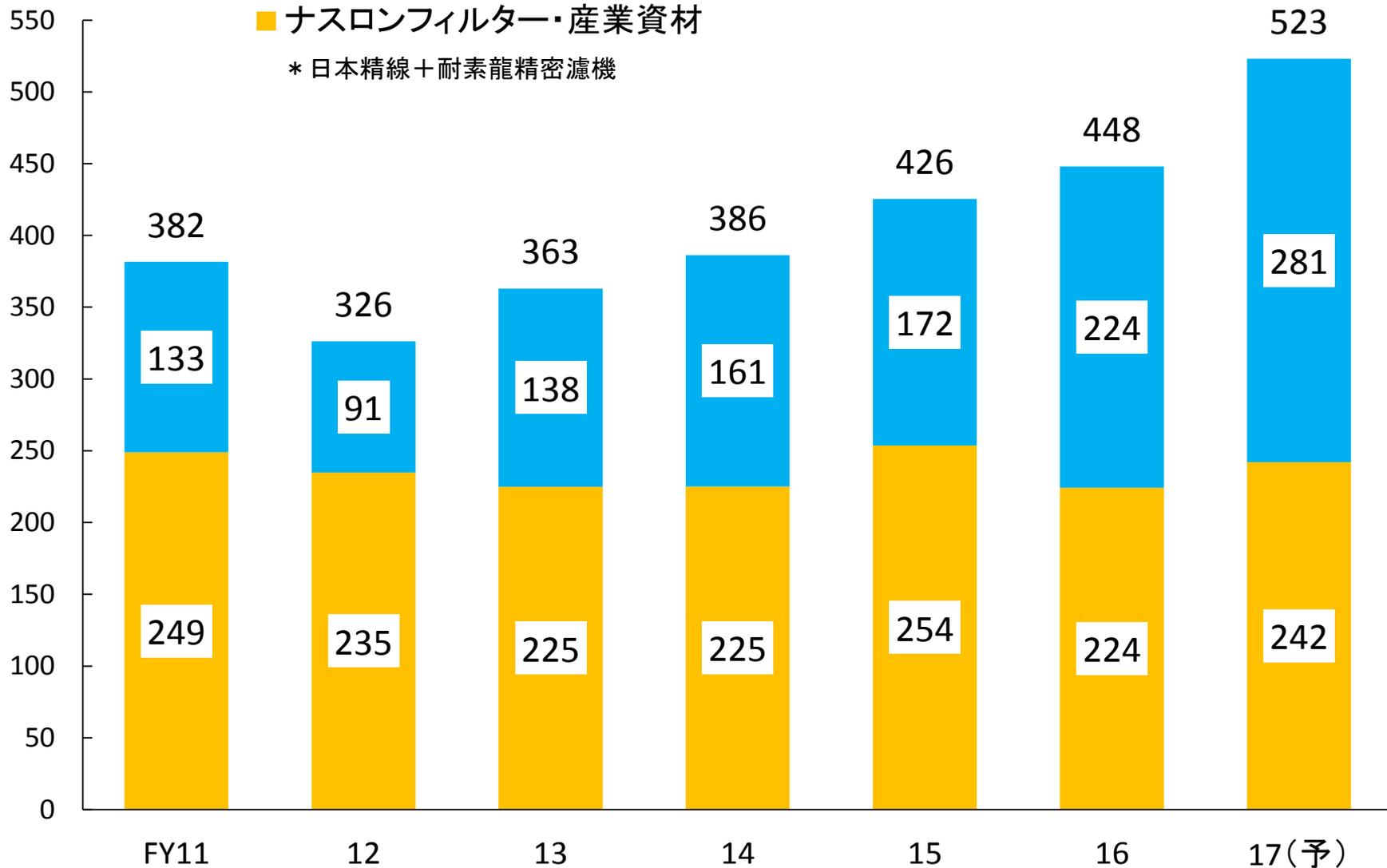
\* 日本精線+タイ精線



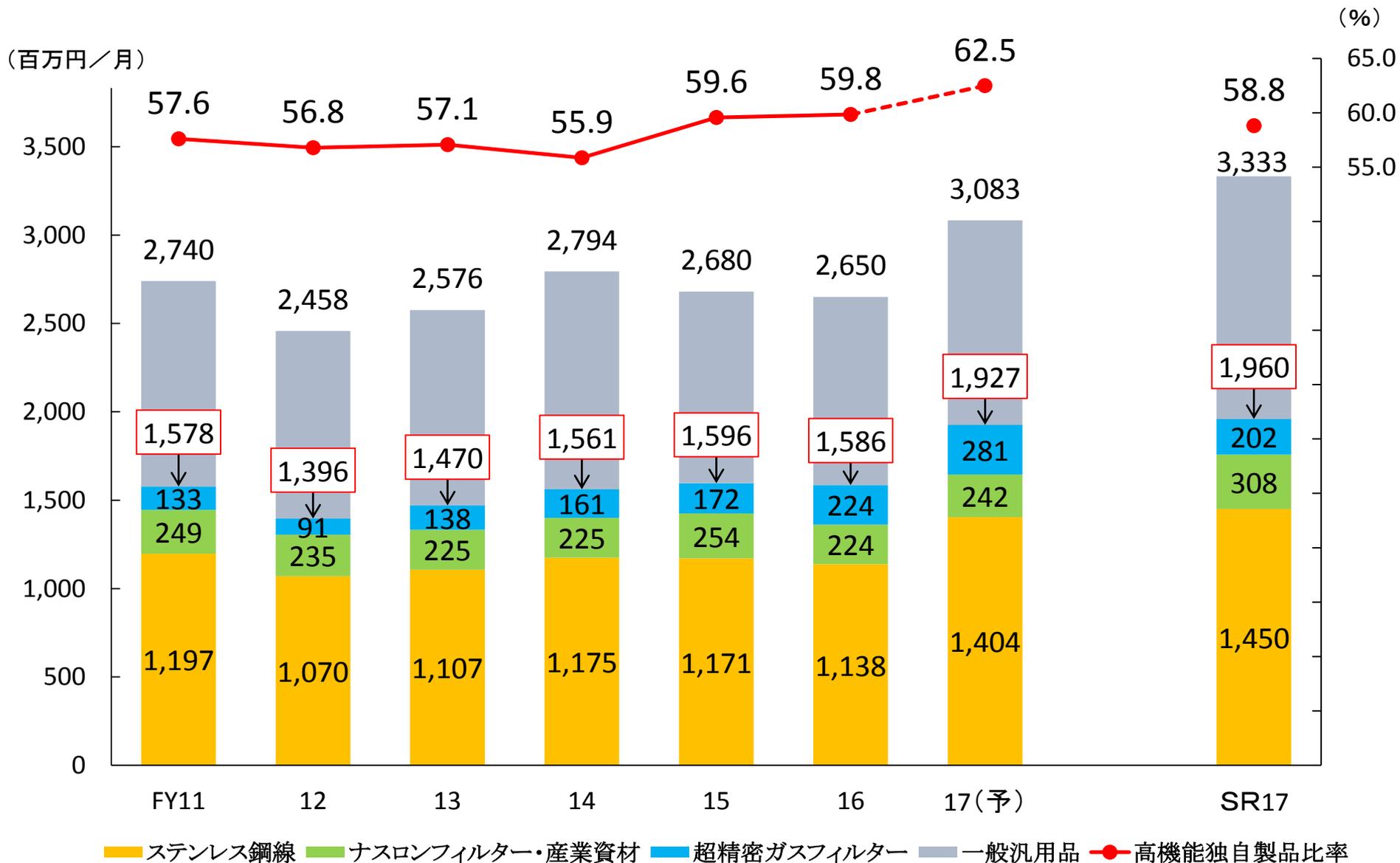
# 部門別売上高の見通し(金属繊維)

(百万円/月)

- 超精密ガスフィルター
- ナスロンフィルター・産業資材
- \* 日本精線+耐素龍精密濾機



# 高機能・独自製品売上高の見通し

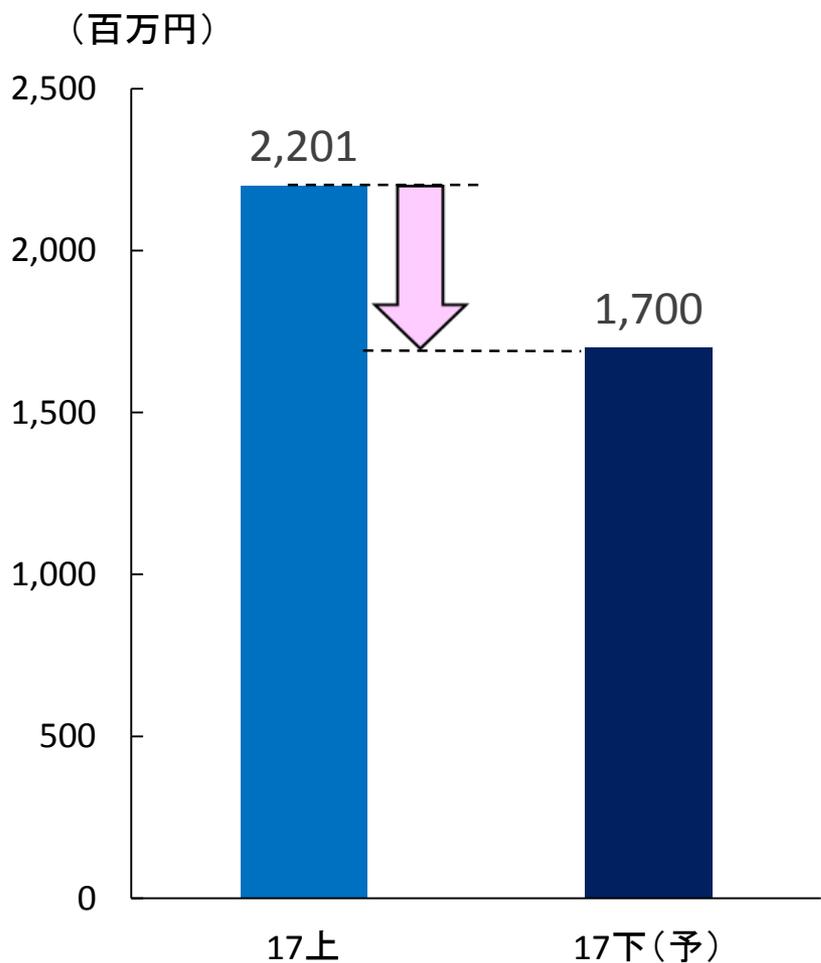


# 経常利益の変化要因(上期／下期対比)

【ロッド価格の前提】

	Ni(\$/lb)	為替(円/\$)
17上期	4.4	113.4
17下期	4.8	111.9

(百万円)

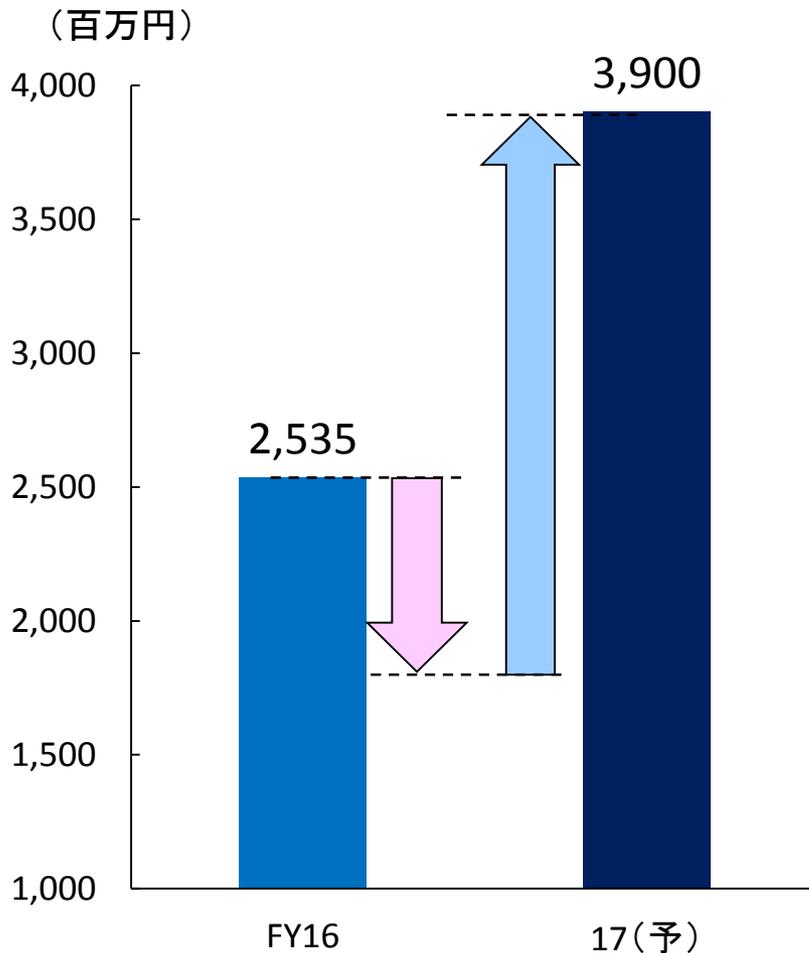


17年上期経常利益		2,201		
対比変化	営業損益	Ni市況	▲ 400	-
		数量変化	-	-
		内容差	-	-
		固定費	▲ 100	-
		合計	▲ 500	0
	営業外損益	-	-	
17年下期経常利益		1,700(▲500)		

# 経常利益の変化要因(当期予想前期対比)

【ロッド価格の前提】

	Ni(\$/lb)	為替(円/\$)
16年度	4.4	109.7
17年度	4.6	112.7



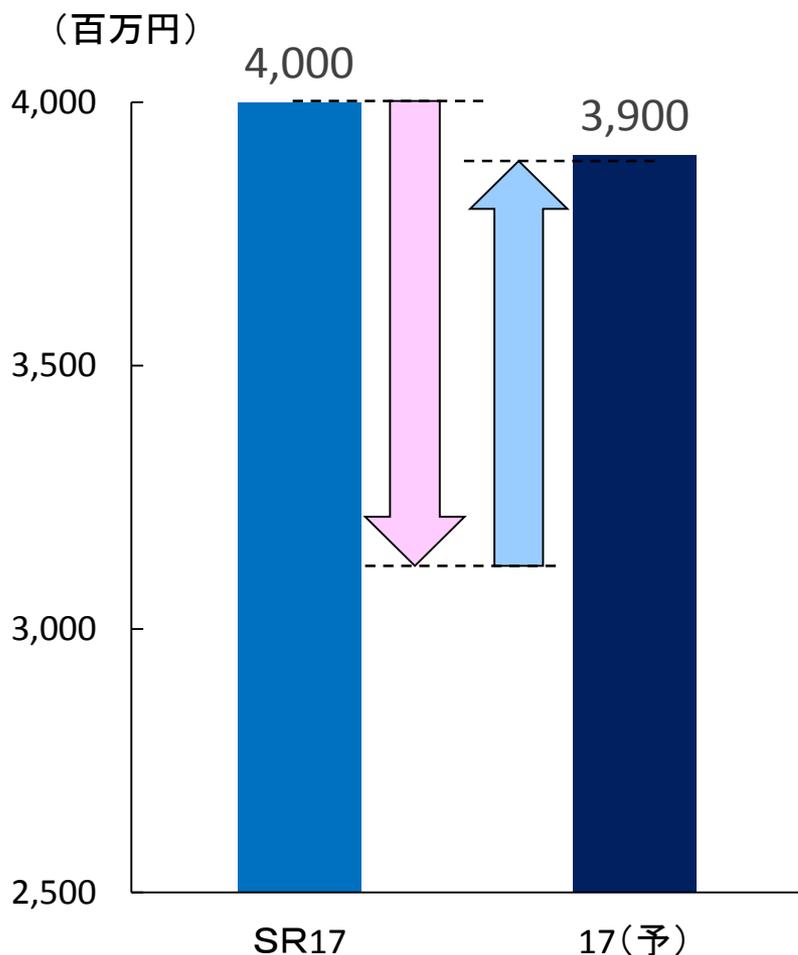
(百万円)

17年3月期経常利益		2,535	
対比変化	営業損益	Ni市況	- +200
		数量変化	- +690
		内容差	- +1,000
		固定費	▲ 750 +200
		合計	▲ 750 +2,090
	営業外損益	- +25	
18年3月期経常利益		3,900(+1,365)	

# 経常利益の変化要因(当期予想中計対比)

【ロッド価格の前提】

	Ni(\$/lb)	為替(円/\$)
SR17	7.0	120.0
17年度	4.6	112.7

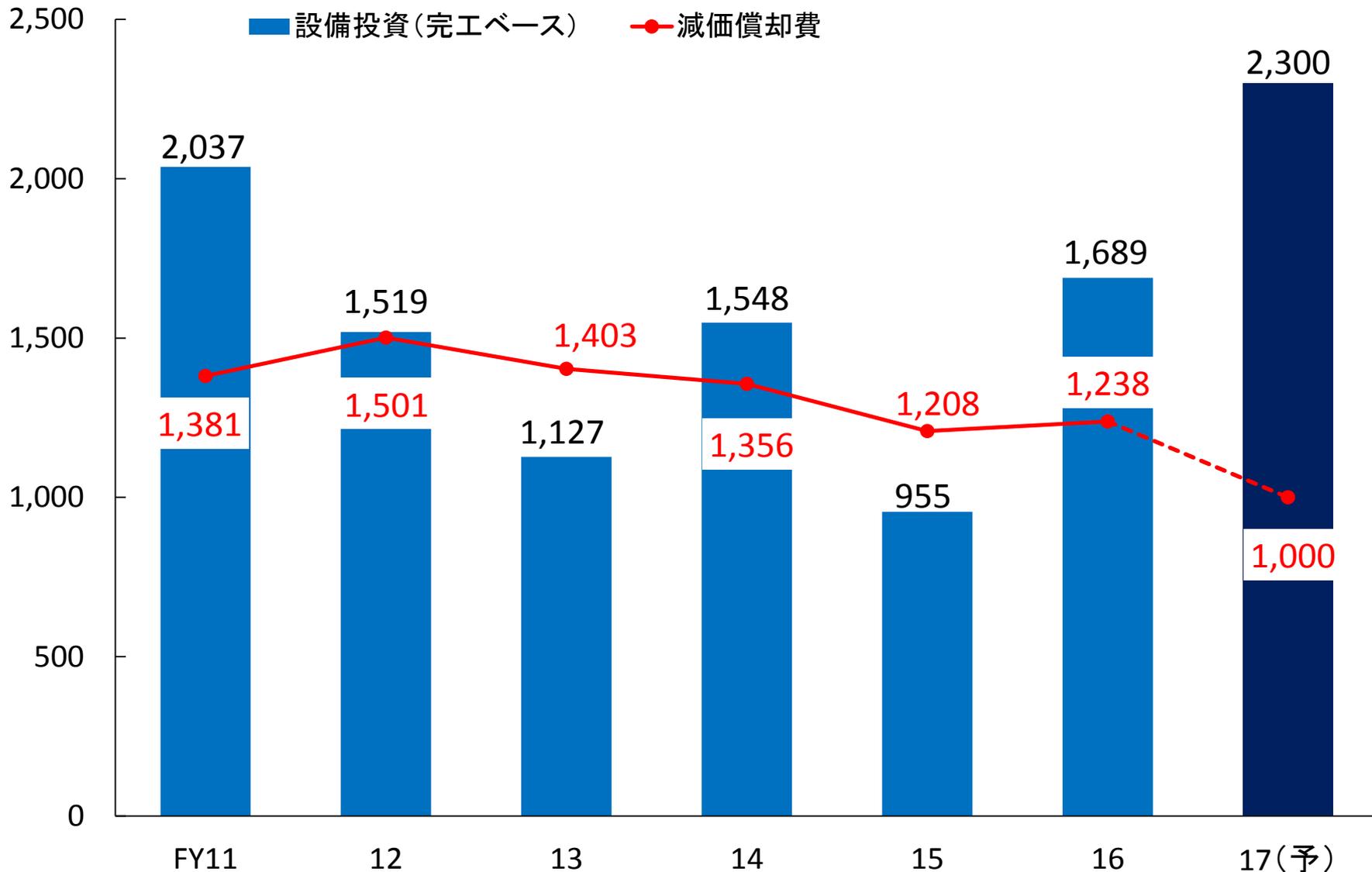


(百万円)

SR17経常利益		4,000		
対比変化	営業損益	Ni市況	▲ 200	-
		数量変化	-	-
		内容差	-	+600
		固定費	▲ 700	+200
		合計	▲ 900	+800
	営業外損益	-	-	
18年3月期経常利益		3,900(▲ 100)		

# 設備投資・減価償却費の推移

(百万円)



		16年度		17年度	
		中間期	通期	中間期	通期 (予想)
経常利益 (百万円)		1,063	2,535	2,201	3,900
当期純利益 (百万円)		763	1,771	1,543	2,700
配当 (円/株)	旧	6.5	13.0	10.0	(20.0)
	新	—	—	50.0	* (100.0)
配当性向 (%)		26.1	22.5	19.9	22.7

[株主還元の考え方]

連結配当性向20%以上を目途に安定的かつ継続的な配当で還元

\* 平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合しており、17年度期末配当金(予想)につきましては当該併合後の金額を記載しております。当該併合を考慮しない場合の17年度期末配当金(予想)は1株当たり10円となり、1株当たり年間配当金は20円となります。

Micro&Fine Technology



日本精線株式会社

**(注記)**

**本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。**

**今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。**

**また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。**